

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	リスクファイナンス法特講		
担当教員	福田 弥夫		
対象学年	2年	開講学期	前期
曜日・時限	火 5		
講義室	1210	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	講義・発展		
科目の位置付け（開発能力）	<p>・ DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP1（危機に対する関心と洞察） 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察を開発する。</p> <p>DP2（社会科学の知見を統合した知識と技能による現代のさまざまな危機の分析及び解決） 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能を開発する。</p> <p>DP4（多様な価値観や立場の理解）多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力を開発する。</p> <p>DP1 50% DP2 25% DP4 25%</p>		
教員の実務経験	<p>金融庁「自賠償保険審議会」委員を平成17年から10年間、国土交通省「今後の自動車損害賠償保障制度の在り方に係る懇談会」委員を平成18年から令和4年まで務めるなど、自賠償保険制度の改正作業に深くかかわってきた。また、生命保険会社や損害保険会社の支払審査委員会委員やアドバイザリーボードなども務めています。さらに平成14年からは、自賠償保険・共済紛処理機構の評議員を務め、令和5年12月からは同機構の理事長を務めるなど、交通事故の紛争処理にも深くかかわってきました。この他にも全国共済農業協同組合連合会の掛金率及び約款審議委員会なども務めており、理論的な面はもちろんのこと、これまでの立法作業や約款改訂作業への関与、さらには具体的な保険をめぐる紛争処理への参加の経験などを踏まえ、これらの実務経験を考慮に入れた講義を展開します。</p>		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	<p>本講では、危機管理学の一つの柱であるリスクファイナンスを、損害保険契約を中心に研究する。リスクマネジメントにおけるファイナンスの役割は極めて大きく、十分な備えをしていない企業は、場合によっては破綻する可能性さえある。この講義では、リスクファイナンス法の現状と課題について、経済産業省の研究会報告書などを教材としながら、リスクファイナンスをめぐる法制度の最新の状況を学び、危機管理におけるリスクファイナンスの位置づけを考えることとする。これらの研究プロセスを通じて、意欲・経験・適性の資質を確認するとともに、学識・専門技能等の汎用的能力を開発することを目的とする。</p> <p>授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>キーワード Risk Management, Risk Finance, Insurance</p>		
授業の趣旨	<p>・ 副題 日本のリスクファイナンスとERM</p> <p>経済産業省の研究会報告書などを輪読して、日本におけるリスクファイナンスの現状と課題を学びます。特に保険を利用したリスクファイナンスに注目するとともに、保険以外にどのようなリスクファイナンスの制度が用意されているのかを学びます。そして、日本ではなぜリスクファイナンスに関する議論や検討がそれほど進んでいないのかを理解します。自分が研究対象としている領域との関係性を学びましょう。</p>		
総合到達目標	<p>・ リスクファイナンス研究会の報告書を輪読して、リスクファイナンスの現状と課題を説明できる。第1回から第7回。</p> <p>・ リスクファイナンスをめぐる文献や報告書などを輪読し、保険によるリスクファイナンスの状況と保険以外によるリスクファイナンスの方法を説明できる。第8回から第15回。</p>		
成績評価方法	<p>・ 特定のテキストではなく、教員が用意した文献等を利用した授業であるので、事前に配布した資料を十分に読了して授業に臨むことが不可欠である。</p> <p>・ 授業参加度25%（理解の正確さなどを授業中に評価する）DP1 DP2 DP4</p> <p>・ 小テスト25%（フィードバックの方法・次回の授業で模範解答を示す）DP1 DP2</p> <p>・ レポート50%（フィードバックの方法・添削をして受講者に返却する）DP1 DP2</p>		
履修条件	なし		
履修上の注意点	特になし		
授業内容	前半は、経済産業省リスクファイナンス研究会報告書を輪読しながら、日本におけるリスクファイナンスの現状と課題について学ぶ。後半は、教員が準備した参考文献など読了しながら、リスクファイナンスの方法論について保険を中心に学ぶ。		

回	内容
1	<p>イントロダクション（講義の進め方の説明）</p> <p>①テキストの1. リスクファイナンスの経営・財務上の意義を学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの1ページから12ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 企業経営とリスクファイナンス及び国内及び海外の企業の取組を復習する。</p>
2	<p>①テキストの2. 日本におけるリスクファイナンスの現状と課題を学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 テキストの15ページから21ページを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 日本においてリスクファイナンスが普及していない理由について、内部的要因や外部的要因を復習する。</p>
3	<p>①テキストの3. リスクファイナンスの普及に向けた主な提言を学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 テキストの22ページから31ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 経済産業省の研究会がまとめた、リスクファイナンスの普及のための提言を復習する</p>
4	<p>①地震リスクへの企業の具体的な取り組みを学ぶDP1.DP2.DP4。 ②予習120分 テキストの89ページから110ページまでを読み、内容を理解しておく。 ③復習120分 二つの民間企業の取組について復習する。</p>
5	<p>①事業に伴うリスクへの企業の具体的な取り組みを学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 111ページから121ページまでを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 事業リスクについて企業がどのように取り組んでいるかを復習する。</p>
6	<p>①メーカーにおけるリスクへの企業の具体的な取り組みを学ぶ。DP1.DP2.DP4 ②予習120分 111ページから134ページまでを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 製品を製造する企業が、どのようなリスクに直面し、どのような対応をしているかを復習する。</p>
7	<p>①総合商社と電力会社のリスクファイナンスの取組を学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 テキストの129ページから29ページを読み内容を理解しておく。 ③復習120分 総合商社が直面するリスク、電力会社が直面するリスクそれとリスクファイナンスの関係を復習する。</p>
8	<p>①リスクファイナンスの検討プロセスであるリスクの保有と移転とリスクファイナンス手法について学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 リスクファイナンスを考えるにあたり、リスク保有等の判断やその決定プロセスを復習する。</p>
9	<p>①保険デリバティブの仕組みと金融市場との関係について学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 保険デリバティブとは何か、どのように利用されているのかを復習する。</p>
10	<p>①CATボンドについて学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 CATボンドとは何か、どのように利用されているのかを復習する。</p>
11	<p>①ファイナイト保険について学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 ファイナイト保険とは何か、どのように利用されているのかを復習する。</p>
12	<p>①キャプティブについて学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 キャプティブとは何か、どのように利用されているのかを復習する。</p>
13	<p>①再保険について学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 再保険とは何か、どのように利用されているのかを復習する。</p>
14	<p>①その他のセーフティネットについて学ぶ。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 事前に配布する資料の該当部分を読み理解しておく。 ③復習120分 セーフティネットにはどのようなものがあるのかを復習する。</p>
15	<p>①講義のまとめ。第14回までの講義を振り返る。DP1.DP2.DP4。 ②予習120分 これまでの講義をまとめておく。 ④復習120分 リスクファイナンスと企業の関係について復習する</p>
関連科目	危機管理学方法論 1
教科書	特に指定しない
参考書・参考URL	経済産業省「リスクファイナンス研究会」報告書。その他は適宜指示する。
連絡先・オフィスアワー	fukuda.yasuo@nihon-u.ac.jp オフィスアワーは火曜日の5時間目を原則とするが、事前にメールにてアポイントメントを取ること。
研究比率	

